

令和5年度第13回 市政懇談会（会議要旨）

日時	令和6年1月31日（水） 18時30分 ～ 19時30分
場所	市長応接室
テーマ	若者の雇用や若者が魅力を感じる職場環境づくり 若者の移住定住について市と地元企業ができること
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 篠崎市長 ○ 市内企業経営者等（6名） 株式会社エイム 代表取締役、有限会社小川蜜カス本舗 代表取締役 金子運送有限会社 代表取締役、キチナンエレクトク株式会社 取締役副社長 木下税理士事務所 所長、明治安田生命保険相互会社 宇部営業所 営業部長 ○ 総合政策部長、こども未来部長、産業経済部次長、広報広聴課
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若い世代には、奨学金の返済に負担を感じ、家庭を持つことをためらう人がいる。市では、市内企業に就職する人を対象として、市が奨学金の一部を負担する制度を令和7年度に開始したいと考えている。（市長） →企業も新規採用者に対する奨学金返済補助について検討を始めている。（株式会社エイム） ○ 今の高校生や大学生は市内企業ではなく市外や県外での就職希望が多いが、高校で企業PRの出前講座をしたところ、市内企業に興味を持ってくれる学生もいる。就職先は、本人ではなく、親が決めていくという話も聞く。（金子運送有限会社） ○ 人材確保については、企業努力が必要なのは承知しているが限界がある。学生に市内企業をもっと知ってもらうために、市にも協力して欲しい。（キチナンエレクトク株式会社） ○ ある金融機関のデータによれば、県内の学生には住み慣れた地元で就職、進学したいという人もいるが、希望する企業や大学等がないため県外に流出しているようだ。学生のニーズを把握し企業が変わることも必要だ。（木下税理士事務所） ○ 企業として、福利厚生を充実させるなど退職させない取組も重要である。（株式会社エイム） ○ ある会社では社員の家族が参加できるバーベキューなどのイベント開催が好評と聞き、自社でも取り入れた。社員の家族に会社の良さを知ってもらえることに加え、社員の家族同士のコミュニケーションも生まれることにより、絆が深まり、社員の定着率も高まっている。（木下税理士事務所） ○ 企業説明会に、学生だけでなく親と一緒に参加したら何かメリットが付与される仕組みを作るのもおもしろいのではないか。（明治安田生命保険相互会社宇部営業所） →市では、キャリア教育の一環として、中学2年生を対象に地元企業の協力により職業体験イベント「みらい Walkers★UBE」を開催している。今後は、就職を控えた高校生や大学生、その親を対象とした企業説明会や職業体験イベントを、行政と地元企

	<p>業の共同で開催できないか検討したい。(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京で就職フォーラムに参加したところ、数人採用することができた。一度は都会に出たいと思う若者も、親の介護等を理由に U ターンを希望する人もいるようだ。(株式会社エイム) →東京での地元企業の企業説明会の開催についても検討したい。(市長) ○ 宇部市は子育て支援の制度は充実していると感じているが、なぜ、学生が地元に残らないのか。若者が集うショッピングモールのような施設がないからではないか。(株式会社エイム) ○ 特に若い女性は、県外に移住したいと思っている傾向が強いと思う。買い物をする場所や便利な交通手段がないため、県外に移住するというデータもある。女性が地元に着定しなければ、人口減少に歯止めがかからない。(木下税理士事務所) ○ 宇部市に商業施設を誘致できないのであれば、市営バスを高速バスとして活用し、安価な移動手段で、宇部市から気軽に県外に買い物に行くことができれば、人口減少の抑制に効果があるのではないか。(有限会社小川蜜カス本舗) →旧井筒屋跡地の利活用を検討する際に、ショッピングモールの誘致について企業に打診したが、残念ながら実現しなかった。また、若者は洋服を買う際に店舗で試着し、ネットで購入すると聞く。店舗を構えても売り上げにつながらない可能性もある。高速バスについては、地元で買い物をする人の減少するにつながるため、地元の小売業や商店街を守ることも考えなければならない。(市長) ○ 商店街を活性化することはできないか。(キチナンエレクトク株式会社) →高松市のある商店街では、店舗の新陳代謝が進み、一時的に活性化した例はあるが、その後再び衰退してしまったようだ。やはり、一般の消費者は駐車場も広く、便利な大型ショッピングモールを選んでしまう。大型ショッピングモールに負けない魅力がなければ、商店街の活性化は全国的に見ても厳しい。(市長)
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高校生や大学生、その親を対象とした地元企業説明会や職業体験イベントの開催について検討 ○ 東京での地元企業説明会の開催について検討